前回(第62回)全日本包装技術研究大会 優秀発表者一覧

○印は発表者/発表当時の所属役職

○中は光衣百/光衣当時の7月周文戦				
輸送包装部会		塩こしょう調味料キャップの改良		
省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール系のTOTO㈱ ウォシュレット開発第三部 包装・印刷物G 伊藤	缓衝材 勇樹 氏	○ハウス食品グループ本社㈱ 容器包装開発部 ヤマトエスロン(㈱) 生産技術部・主幹	尾崎 田中	愛莉 大
ブラザー工業㈱ P&S 事業 LE 開発部 種村	D展開 成昭 氏 淳平 氏 淳治 氏	第入りレトルト製品包材の環境配慮対応と使い勝手向上 ○ハウス食品グループ本社㈱ 容器包装開発部 東洋製罐㈱ プラスチック技術開発部FP・カップ開発グループ レンゴー㈱ 包装技術第一部 大阪包装技術第一課 レンゴー㈱ 包装技術第二部 関東包装技術課	吉川岸	東希夫 直 宏幸 良太
○アサヒ飲料(株) 研究開発本部 技術研究所 容器包装グループ 林	良祐氏	環境包装部会		
(株)・一モク 開発営業第一部 豊島	貴史 氏 圭人 氏	サーキュラーエコノミーの実現を目指したガラスびん「MomiGla 〇日本山村硝子㈱ 環境室 日本山村硝子㈱ 環境室・副参事	ss」の 堀 山本	開発 詩織 柱
	ついて 泰輔 氏		花田	真一
カーナビ用EPS緩衝材のパルプモールド化 ○ダイナパック㈱ 開発本部 中部CSC 設計グループ 野本 (株)JVCケンウッド モビリティ&テレマティクスサービス分野	早紀 氏	医薬品/生活者包装部会		
(株)JVCケンウッド モビリティ&テレマティクスサービス分野 技術本部 第1技術部 大原	思 氏 貴広 氏 久司 氏	〇エーザイ㈱ PST ユニット 製剤研究部	中﨑	真穂 寛之 克也
積層段ボール緩衝材における緩衝設計理論の確立 ○セイコーエプソン㈱ P商業・産業企画設計部 シニアスタッフ 一宮 セイコーエプソン㈱ シニアスタッフ 神垣	祐太 氏真哉 氏	キュキュットecoペコボトルの開発 〇花王㈱ 包装技術研究所	川上名	アケル
倉庫型店舗向け冷凍焼き芋販売用段ボールケースの提案		化粧品包装部会		
○セッツカートン㈱ 新東京工場 営業部 包装開発課 大川城 食品包装部会	香瑠 氏	白濁化粧水の安定化に優れた4方シール袋の開発 ○㈱コーセー 商品デザイン部設計開発室/研究所スキンケア製品研究室 ㈱コーセー 商品デザイン部設計開発室 室長		茜幸司
	勇斗 氏 大将 氏 弘 氏	プンストレスで滑らかにクリームを塗布できるチューブ容器 ○花王㈱ 包装技術研究所 グループリーダー 花王㈱	開発	始旦

公益社団法人日本包装技術協会 各種研修活動のご案内

■人材育成コース

①包装新人研修コース(4月開催)

入社1~2年目の新人を対象に初歩の一般的な包装基礎知識の習 得を目指します。

②包装基礎コース(5月開催)

入社3年目以降、または新たに包装分野に就かれる方を対象に、 包装の全ての分野にわたり短期間習得を目指します。

③包装管理士講座(7月開催)

包装基礎コースの内容より一歩踏み込んだ広義の専門知識の習得 を目指します。一般講義、グループ討議、ケーススタディ等合宿 を通して交流親睦を図ります。

④包装専士講座(6月開催)

専門分野の深度化と高度化を目指します。輸送包装・食品包装・ 包装材料・医薬品包装の4コースを開講予定。

■専門別人材育成コース

⑤フレキシブルパッケージコース(2月開催)

⑥食品包装コース(11月~3月開催)

食品包装に必要な知識と最新情報について月1回の頻度で計5回 講義を行います。

⑦緩衝包装設計コース(11月開催)

緩衝包装の目的、力学基礎、設計技法を実際の緩衝設計プロセス に沿いながら解説します。

⑧段ボール包装設計コース(2月開催) 主に初心者を対象に段ボールの特性を学び、実習時に段ボール箱 を作成します。

⑨循環型包装コース(11月開催)

国内外の循環型パッケージに関する最新情報を、事例とともにご 紹介いたします。

■時事テーマ別講演会

⑩化粧品包装セミナー(7月開催)

化粧品包装のデザイン、新技術、包材、化粧品業界の動向につい てプログラム編成します。

①包装材料セミナー(1月開催)

新包材・開発事例・包装資材にまつわる問題や法律の説明、素材 別マーケット動向について紹介します。

⑫包装近未来シンポジウム(3月開催)

2030年に向けたグローバル戦略・サステナビリティ社会・包 装新技術・変わる消費者の動向を探る事を目的として開催しま す。プログラム後半にパネルディスカッションを行います。

⑬医薬品包装セミナー(3月開催)

医薬品包装の法規、新技術、包材、医薬品業界の動向についてプ ログラムを編成します。

特別講演講師紹介



【テーマ】『北三陸から、世界の海を豊かにする』

株式会社北三陸ファクトリー 代表取締役CEO 下苧坪 之典 Yukinori Shitautsubo

略 歴:

1980年岩手県洋野町生まれ

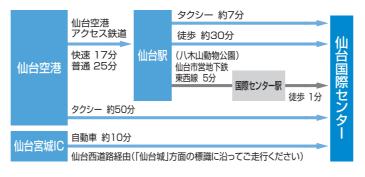
革新的ウニ再生養殖技術「UNIVERSE SYSTEMS」を武器に、世界の水産業の未来を 切り拓く北三陸ファクトリーを、2018年岩手県洋野町に創業。磯焼けで価値を失った ウニを、北海道大学等との連携で確立した独自技術で劇的に高品質化。単なる食害対策を 超え、藻場再生による生態系回復、持続可能な漁業、そして地球規模の温暖化対策に貢献 する。日本のみならず、豪州、北米へ進出し、日本発のウニグローバル産業を創出。世界 に類を見ない「美味しい」体験を提供する。2025年大規模陸上養殖施設を推進し、気 候変動に挑む、高効率生産体制を構築。水産業の常識を覆すアントレプレナーとして、 「HAGUKUMU-UNI」で海の可能性を極限まで引き出し、食卓に歓喜を、地球に未来を、 次世代へ豊かな海の恵みを継承する。

会場へのアクセス

会場: 仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山無番地 TEL:022-265-2211

●仙台国際センターまでのアクセス





第63回 全日本包装技術研究大会 申込方法について

- ●当会ホームページ掲載の全日本包装技術研究大会より、参加申し込みをお願い致します。
- ●「申込責任者」様宛に請求書を送付いたします。参加者に登録された方に参加証を送付します。
- ●各参加者様宛に参加証を送付しますので、当会ホームページで情報を入力される際は、お間違いの無いように してください。
- ●本催し開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。参加者様のご都合が悪い場合は、代理の方の出席 は差し支えありませんが、参加証などのお名前変更の対応は致しかねます。ご了承の上、ご参加ください。

仙台大会

山台国際センター

時:2025年12月18日(木)~12月19日(金)•2日間

第1日目 11:00~17:00 第2日目 9:00~16:00

所:『仙台国際センター』 仙台市青葉区青葉山無番地

催:公益社団法人日本包装技術協会

援:経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛装備庁・特許庁・日本商工会議所

公益財団法人日本生産性本部·他関連団体

ご案内

地球規模の環境問題や急速に進展する高齢化社会への対応 等、社会的に多様化時代に入り、包装界もこのニーズに対応す べく、新しい技術の開発や研究に力を注ぐ一方、更なる合理化 や改善に対する努力も重要な課題となっています。

そこで当協会では関係各位のご高配を得て、第63回全日本包 装技術研究大会をJPI各支部協力のもとに、本年は仙台市にて 開催致すことになりました。

包装に関する工夫の実例や、研究開発の成果を広く発表する

と共に、同業・異種業界の関係者との相互の交流を深めること を目的とし、包装をめぐる諸問題を多面的かつ、きめ細かにと らえ研鑽する機会として開催されます。

会員各位をはじめ関係者多数で参加くださいますようで案内 申し上げます。

> 公益社団法人日本包装技術協会 会 長 大 塚 一 男

主 催:公益社団法人日本包装技術協会

後 援:経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛装備庁・特許庁・日本商工会議所・公益財団法人日本生産性本部 日本MH協会·日本包装専士会·日本包装管理士会

日:2025年12月18日(木)~12月19日(金)·2日間

【第1日目】11:00~17:00 【第2日目】9:00~16:00

会場:『仙台国際センター』 仙台市青葉区青葉山無番地

発表件数:特別講演1件/部会発表50件

部 会:輸送包装部会/食品包装部会/生活者·化粧品包装部会/環境包装部会/包装資材部会

	税込価格	35,200円	29,700円	55,000円
	消費税(10%)	3,200円	2,700円	5,000円
	本体	32,000円	27,000円	50,000円
(テキスト代含む)		通常価格	割引価格 (3名以上同時申込の場合)	一般(1名)
賃・	参加費	会員		

個人情報の取扱いについて

個人情報は「(公社)日本包装技術協会 第63回全日本包装技術研究大会」の事 個人情報は「公社」口本已表技術開始、第00回生日本已表技術開拓人会」が身業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させて頂きます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。

参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人 情報を第三者に開示、提供することはありません。

申込要領

参加申込方法

●弊会HPに掲載がありますので、こちらよりお申し込みください。

2 参加証

- ●参加申し込みが事務局に到着後、申込者各位宛に「参加証・請求書」を送 付します。
- ●請求書到着後、納入期日までに参加費を指定の口座へお振込みください。 ●出席の受付とテキストの交付は、本大会受付にて開催期間中に行いますの で、参加証を当日必ず持参ください。(万一、参加証未着の際は名刺引き換

えにて当日参加証を交付しますので受付へお申し出ください)

3 申込期限

● 2025年12月12日(金) ※期限後に申込を希望される場合は事務局にご連絡くださし

4 参加費の納入方法

●大会参加費は銀行振込にて12月17日(水)までに必ず指定口座へ一括ご納 入ください。

5 お振込先

●三井住友銀行 銀座支店 当座預金 No. 1015080 みずほ銀行 築地支店 当座預金 No 78448

●三菱UFJ銀行 銀座支店 当座預金 No. 1634 口座名義 公益社団法人日本包装技術協会

フリガナ シャ) ニホンホウソウギジュツキョウカイ

公益社団法人日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会係(担当:佐藤)

お申し込み先

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル TEL(03)3543-1189 FAX(03)3543-8970

第63回全日本包装技術研究大会

と き: 令和7年12月18日(木)・19日(金)

場 所:仙台国際センター

主 催:公益社団法人日本包装技術協会

後援:経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛装備庁・特許庁・日本商工会議所・公益財団法人日本生産性本部・他関連団体

10:20~ 受 付 開 始 11:00~11:05 公益社団法人日本包装技術協会 専務理事 園山 洋一氏 開 会 挨 拶 展示棟 展示室 1 11:05~11:25 前回優秀発表者表彰式 11:30~12:30 『北三陸から、世界の海を豊かにする』 株式会社北三陸ファクトリー 代表取締役CEO 下苧坪 之典 氏 特 別 講 演 12:30~13:55 居 食 休 憩 研究発表部会名 生活者包装・化粧品包装部会 展示棟 会議室 1 食品包装部会 展示棟 会議室2 輸送包装部会 展示棟 会議室3 岳 氏 フタムラ化学㈱ 中部統括 開発グループ グループリーダー(包装専士) コーディネーター 琢 也 氏 UCC上島珈琲㈱ R&D本部 容器·資材開発部 部長(包装管理士) 大塚広樹氏 パナソニックホールディングス(㈱) オペレーション戦略本部 シニアスペシャリスト(包装管理士) 高 森 寛 子氏 大日本印刷㈱ Lifeデザイン事業部 第3ビジネスユニット 開発本部 製品開発第2部 リーダー(包装専士) 高 山 崇氏 キユーピー㈱ シニア・コーポレート・サイエンティスト(包装管理士) 高橋 二朗氏 (株石野製作所 専務取締役(包装専士) 発表時間帯 強度と美粧性を両立した衣料用洗剤用樹脂減ボトルの開発 「キリン午後の紅茶」 用ペットボトル開発 損傷再現を目的とした包装貨物振動試験 包装技術研究所(包装管理士) 包装技術研究所 包装技術研究所 包装技術研究所 包装技術研究所 グループリーダ-キリンホールディングス(株) R&D 本部 パッケージイノベーション研究所(包装専士) キリンホールディングス(株) R&D 本部 パッケージイノベーション研究所 〇斎 藤 勝 彦氏 上 原 雅 史氏 干 田 詠 介氏 14:00~14:25 神戸大学 輸送包装研究室 教授 アイデックス(株) 営業技術部 課長代理 アイデックス(株) 営業技術部 課長代理 18 日清かけるオイル145g フレッシュキープボトル の開発 プレミアム性と環境貢献実感を両立する新価値容器の開発 包材が乾燥剤の吸湿挙動に与える影響の比較評価 ~吸湿速度の観点から見た安全性と実用性~ В 2 14:30~14:55 日清オイリオグループ㈱ ホームユース・ウェルネス食品開発センター ホームユース開発課(包装管理士) 〇戸 枝 優 花 氏 (株)資生堂 ブランド価値開発研究所(包装管理士) ○小 橋 佳 彦氏 日本化工機材株式会社 技術部 化成品技術グループ アシスタントマネージャー(包装専士) ○髙 橋 裕 美氏 日清オイリオグループ(株) ホームユース・ウェルネス食品開発センター ホームユース開発課 主管 平野尚美氏 多層フィルムにおけるMXナイロンと脂肪族ポリアミドの分離方法 Biore The Body ととのい肌の容器開発 複数素材の組み合わせによる緩衝特性のコントロール 15:00~15:25 〇大 塚内原藤 博子積章 野順穂元 3 セイコーエプソン(株) Pオフィス・ホーム企画設計部(包装管理士) 〇中 村 清 降氏 セイコーエプソン(株) シニアスタッフ 神垣真哉氏 樹脂容器と中味成分の接触場における「耐内容物トラブル」の発生メカニズムと影響因子について 環境負荷低減を目指した3000系アルミ合金製リシール缶用キャップの開発 らくらく施工アシスト付包装 15:30~15:55 ㈱マンダム パッケージ開発部 主任 ○高嶋快土氏 日本クロージャー(株) 技術開発部(包装管理士) 〇石 井 祐 基氏 TOTO(株) 衛陶設計部 衛陶生産設計第二G 〇森 咲 希氏 (株)マンダム パッケージ開発部 部長 大 原 勝 哲氏 未来のメイク落とし「"ミスト状"オイルメイク落とし」の開発 樽生ビールの泡品質向上を目指すパーフェクトチェンジャー3.0の開発 発泡ポリスチレン使用禁止に伴う電子ピアノ梱包材の段ボール化 16:00~16:25 花王㈱ 包装技術研究所(包装管理士) 〇土 屋 英里香 氏 サッポロビール(株) 技術開発部(包装管理士) 〇仁 科 宏 崇氏 アイロップ(株) 包装技術部 ○金 岡 竜 司氏 (株)吉野丁業所 サッポロビール(株) 技術開発部・シニアマネージャ 成田秀一氏 包装貨物の荷崩れ再現における衝撃の3軸同時性の重要性 デジタルプリントの用途拡大 ~セキュアパッケージへの展開~ 果汁グミスマートパックの開発 (地独)大阪産業技術研究所 主任研究員 (地独)大阪産業技術研究所 研究室長 (地独)大阪産業技術研究所 主任研究員 **6** | 16:30~16:55 ○細 山 売氏 津 田 和 城氏 堀 口 翔 伍氏 ㈱明治 ものづくり戦略本部 モノづくり設計部(包装管理士) 〇西 島 瑛 佑氏 TOPPAN(株) 東日本事業部 東日本企画本部 主任(包装管理士) 〇松 田 大 樹氏 TOPPAN(株) 研究発表部会名 輸送包装部会 展示棟 会議室 1 食品包装部会 展示棟 会議室2 輸送装部会 展示棟 会議室3 竹 下 三四郎 氏 セイコーエプソン(株) 課長(包装管理士) 管 原 宏 智氏 (株久原本家グループ本社 商品開発本部 包装容器開発担当部長(包装専士) 岡 村 隆 広 氏 エトリア㈱ エンジン開発本部 MFD開発センター 第七画像技術開発室 開発ニグループ エキスパート(包装専士) 早 坂 実氏 ㈱丸定 仙台営業所 専任部長(包装管理士) 松 彦 氏 理研ビタミン(株) 調達部 部長(包装管理士) 鈴 木 康 二 氏 浅野段ボール(株) 営業部 開発課 課長(包装管理士) ラップアラウンドの内フラップが逃げない手穴設計手法 マヨネーズキャップの軽量化とその他の改善検討 輸送中の振動が及ぼす締結トルク低下への影響と検証方法の提案
 ○上
 原
 雅
 史氏

 齋
 藤
 勝
 彦氏

 野
 村
 昌
 孝氏
 9:00~ 9:25 アイデックス(株) 営業技術部 課長代理 神戸大学大学院 輸送包装研究室 教授 神戸大学大学院 海事科学研究科 准教授 レンゴー㈱、パッケージング部門、開発本部、包装技術第一部、東京包装技術第三課(包装管理士) 〇賀 川 春 菜氏 キユーピー㈱ 食創造研究所 シニア・コーポレート・サイエンティスト(包装管理士) ○高 山 崇氏 キリンホールディングス(株) R&D本部 パッケージイノベーション研究所 小柳津 雄太郎 氏 海外向け自動車部品インジェクター集合包装改善 シュリンクによる果実指傷低減効果の検証と最適化 緩衝材の特性と衝撃応答の関係性の解明 興人フィルム&ケミカルズ㈱)研究開発部 農研機構 九州沖縄農業研究センター 九州・沖縄 暖地畑作物野菜研究領域施設野菜グループ 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センター 9:30~ 9:55 〇山 崎 道 子氏 〇小田切 洸 貴氏 セイコーエプソン(株) 分析CAEセンター シニアスタッフ スズキ㈱ 生産計画部 梱包設計課 王子コンテナー(株) 営業本部CS推進部設計・デザイン室 セイコーエプソン(株) Pオフィス・ホーム企画設計部 岩 本 祥氏 神垣真哉氏 納豆PSPトレーの軽量化、及び持ちやすさ、混ぜやすさ向上 実輸送環境に即した振動試験基準の設定 強度劣化が少なく作業性と外観を維持した高さ可変段ボール箱の開発 10:00~10:25 ○谷□大輔氏 ㈱アイシン・ロジテクサービス 物流部 係長 (株)トーモク 開発営業第一部(包装専士) 〇岡 野 啓 人氏 ㈱Mizkan マーケティング本部開発技術部開発技術4課 主任 ○篠 原 正 典氏 ㈱アイシン 生産企画部 主任 本 山 哲 郎氏 スラリーポンプの機種兼用包装材の開発 日本初 酒類飲料キャップにおける水平リサイクルの実用化 ヘッドホン包装設計開発事例の紹介 キリンホールディングス㈱ R&D本部 パッケージイノベーション研究所 主査 日本山村硝子㈱ プラスチックカンパニー アースケア推進グループ 日本山村硝子㈱ 環境室 日本山村硝子㈱ プラスチックカンパニー アースケア推進グループ 10:30~10:55 〇湯 浅 大 之氏 ナビエース㈱ 営業本部 関東販売推進部(包装管理士) 〇北 條 貴 裕氏 (株)オーディオテクニカ 企画開発部 業務推進課 段ボールとボトルの強度を最大化「コーナークラッシュカートン」の開発 損傷境界曲線を用いた緩衝包装評価方法の提案 空き箱を有効活用「ロッテミニチュア部」 12 11:00~11:25 (株)トーモク 開発営業第一部(包装管理士) (株)トーモク 開発営業第一部 部長 サントリーホールディングス(株) サプライチェーン本部 イノベーション・開発本部 イノベーション部 神栄テクノロジー㈱ 企画戦略本部 事業開発部 部長 〇川 口 和 晃氏 (株)ロッテ 中央研究所 パッケージ研究課 スペシャリスト(包装管理士) 〇小 垣 美津子 氏 五十嵐 貴 史 笹 倉 直 也 月 緩衝設計の評価におけるダミーやシミュレーションの有効性について 紙カップ容器のホルダー型集積包装の開発 電子レンジ加熱可能な缶詰 "レンジde缶" の開発 19 森永製菓㈱ マーケティング本部 戦略企画部 製品計画グループ (包装管理士) 森永製菓㈱ 研究所 サステナブル技術研究センター 開発推進グループ (税東北ウエノ 設計開発部(包装専士) (税東北ウエノ 設計開発部 課長 (税東北ウエノ 設計開発部 主査 (税東北ウエノ 設計開発部 6 11:30~11:55 〇犬 丸 彰 子氏 大和製罐㈱ 先端技術研究所 パッケージソリューション研究室 B 大和製罐㈱ 製品開発センター 容器開発室 上野 美空氏 古林紙工(株) 技術本部・設計技術部 12:00~13:25 居 食 休 憩 金 研究発表部会名 包装資材部会 展示棟 会議室 1 環境包装部会 展示棟 会議室2 輸送包装部会 展示棟 会議室3 コーディネーター 平 野 尚 美 氏 日清オイリオグループ(株) ホームユース・ウェルネス食品開発センター ホームユース開発課 主管(包装専士) 阿 部 貴 俊氏 TOPPAN㈱ 東日本事業部 東日本企画本部 SXビジネス推進部 部長 杉 田 裕 紀氏 レンゴー(株) 包装技術第一部 部長(包装専士) 佐野雄一氏 ㈱資生堂 大阪茨木工場 技術部 外装技術グループ グループマネージャー(包装管理士) 発表時間帯 桑 垣 傳 美 氏 キッコーマンビジネスサービス㈱ 購買部 プロフェッショナル(包装管理士) 鈴 木 雅 彦 氏 (㈱東北ウエノ 代表取締役(包装専士) PCR-PEを活用したモノマテリアルチューブ容器の開発 飲料向け段ボールカートンの手穴形状改善 周波数補正フィルタを用いた荷擦れ発生レベルの検討 13:30~13:55 キリンホールディングス(株) パッケージイノベーション研究所(包装管理士) 〇小柳津 雄太郎 氏 (公財)鉄道総合技術研究所 車両技術研究部 車両運動 主任研究員(上級) 〇梅 原 康 宏氏 レンゴー㈱ パッケージング部門 開発本部 包装技術第一部 東京包装技術第三課 賀 川 春 菜氏 (地独)大阪産業技術研究所 生活科学・輸送包装研究室 研究室長 津田和城氏 セミホット充填ラインにおけるPETボトルのインライン成形技術 紙製二次包装「オルカミスタンディングパウチ®」の開発 傾斜トレイ「ストコン」の開発と将来性 14:00~14:25 大日本印刷㈱ Lifeデザイン事業部 〇上 田 佑 理氏 シグマ紙業㈱ 企画開発部 企画デザイン室 室長(包装管理士) 〇豊 田 啓 介氏 王子コンテナー(株) 営業本部CS推進部 室長代理 ○青 野 典 生氏 Bag in Boxの水平リサイクルに向けた取り組み EC限定のくらしになじむデザイン 未来を包む力:デジタル印刷が創る包装産業の新たな価値 ダイナバック(鉄) 開発本部中部CSCデザイングループ(包装管理士) カゴメ(株) ブランドコミュニケーション部デザインG カゴメ(株) 飲料企画部 カゴメ(株) 健康直送事業部 14:30~14:55 ㈱日本HP デジタルプレス事業本部 インダストリアルセールス本部 マーケティング部 シニアスペシャリスト ○永 嶋 ゆ り 氏 消費者参加型 分別回収紙コップ Tokan FF CUP 貨物輸送におけるGHG排出量削減の実証と展開 医療用医薬品の緩衝包装 -添付文書削除対応を例に-東罐興業(株) 技術開発本部 研究開発部 素材グループ 東罐興業(株) 技術開発本部 研究開発部 素材グループ 東罐興業(株) 技術開発本部 研究開発部 素材グループ 東罐興業(株) 技術開発本部 設計工作部 設計グループ 〇成 田 廣 大日 浅野 文 田 久保田 文 世 15:00~15:25 〇大井川 一 裕氏 アステラス製薬㈱ 製剤研究所 包装&デバイス研究室 主管研究員(包装専士) 〇小 島 清 樹氏 アルプスアルパイン(株) モビリティ生産戦略部 生産戦略2G(包装管理士) レンクッション® シリーズの開発 把手付きキュキュットecoペコボトルの開発 レンゴー(株) 包装技術第一部 東京包装技術第三課 担当課長(包装管理士) レンゴー(株) 包装技術第一部 大阪包装技術第三課 担当部長代理 レンゴー(株) パッケージ開発部 パッケージ開発課 担当課長 15:30~15:55 〇小 川 翔 平氏 花干㈱ 包装技術研究所 花王(株) 包装技術研究所